

令和 7 年度

秋入試

茨城大学大学院人文社会科学研究科

入学試験問題

社会科学専攻

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（現代ジャーナリズム研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

【問題①】 次の言葉についてそれぞれ 100～200 字程度で説明してください。

- A ニュース価値
- B OSINT
- C 大新聞と小新聞

【問題②】

テレビ東京が 2024 年 5 月、「事実関係の確認を怠り関係者の名誉を傷つけた」として制作中止を決めた「警察密着番組」について、「放送における言論・表現の自由と人権」の観点から、あなたの考えをまとめてください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(現代ジャーナリズム研究)

試験区分：(留学生)

【問題①】 次の言葉についてそれぞれ 100～200 字程度で説明してください。

A ニュース価値

O'Sullivan et al.(1994)や山腰修三（2023）の定義によると「ニュース・ストーリーの選択・構成・提示において用いられる専門コード」。ジャーナリストが「内面化しているインフォーマルな判断基準」。「ジャーナリストはさまざまな出来事の意味や重要性に関する暗黙の前提、そしてニュースの消費者および社会全体の利害関心に関する予想をもとにニュースを価値判断している」

B OSINT

「open source intelligence」の頭文字を取ったもので、インターネット上などに公開されている情報を調査・分析する手法を意味する。SNS に上げられた情報・動画、ネット上の地理・気象情報、衛星画像などを駆使する。

非営利の調査集団「ベリングキャット」が 2014 年のマレーシア航空 17 便撃墜事件をめぐり、ロシアからウクライナ領内に持ち込まれたミサイルが使用されたことをオシントによって指摘したことから広く知られるようになった。

C 大新聞と小新聞

津金澤（1965）によると、大（おお）新聞と小（こ）新聞は日本の新聞の「原点」であり、大新聞は、政治的見解を戦わせる「政論的報道紙」であり、小新聞は速報をはじめとした報道を重視し『世態雑報』本位の報道・娯楽紙。明治時代前期は大新聞が主流だったが、明治中頃から朝日新聞、大阪毎日新聞などの小新聞が台頭した

【問題②】

テレビ東京が 2024 年 5 月、「事実関係の確認を怠り関係者の名誉を傷つけた」として制作

中止を決めた「警察密着番組」について、「放送における言論・表現の自由と人権」の観点から、あなたの考えをまとめてください。

多様な回答が想定されるが、必須の論点としては

- 1、警察密着番組が民放各社で長年、放送されており、一定の視聴率を得る定番の番組になっている点
- 2、逮捕や家宅搜索、捜査の現場をそのまま取材・放映することで、刑事訴訟法上の「無罪推定」の原則が守られない場合がある点
- 3、警察の権力行使を無批判に放送しているとの批判がある点
- 4、報道か娯楽番組か位置づけが明確ではなく、通常の警察報道で行われている真実性や人権擁護を巡る多重チェックが行われていない点
- 5、4に関連して、過剰な勧善懲悪の演出が見られる点

などを踏まえて

- 6、今回の警察密着番組が「人気アニメの模倣商品を取り扱ったとして、愛知県警が2021年7月に4人を不正競争防止法違反の疑いで逮捕した事案を取り上げた。4人のうち3人は9月に不起訴になっていたが、番組は言及しなかった」（2024年8月11日朝日新聞）事案であり、そもそも罪に問われていない人を犯人視するような番組になっていた点（※事件の詳細は必ずしも記述されていなくても良い）
- 7、テレビ東京が、不適切な放送内容が複数あったとして、お詫び放送やウェブサイトにお詫び文を掲載している点
- 8、しかし2024年6月、「放送倫理・番組向上機構（BPO）」で審議入りが決まった点を取り上げながら、「放送における言論・表現の自由と人権」について論じることが求められる。

なおBPOはNHKと民放連によって設置された第三者機関で「視聴者の基本的人権を擁護するため、放送への苦情や放送倫理の問題に対応」している。「視聴者などから問題があると指摘された番組・放送を検証して、放送界全体、あるいは特定の局に意見や見解を伝え、一般にも公表」する。

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（コミュニケーションの社会学）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

次の問 1 および問 2 の全てに解答しなさい。問 1 の解答は解答用紙「その 1」に、問 2 の解答は解答用紙「その 2」に記入すること。

問 1 次の a)～c)の語句について、「コミュニケーションの社会学」の視点から説明しなさい。

- a) 社会構成主義（社会構築主義）
- b) 社会の流動化
- c) 親密性の変容

問 2 インターネットの普及に伴い、SNS に投稿されたテキストの内容を社会学的な分析対象とする研究が見られるようになっているが、そのような研究方法には、質問紙調査やインタビューを用いる研究方法と比較して、どのような長所および短所があると考えられるか、説明しなさい。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：（メディア・情報社会）

専門領域：（コミュニケーションの社会学）

試験区分：（留学生）

問 1（解答例）

- a) 社会に存在する様々な事柄を、客観的に実在するものとして考えるのではなく、社会的に構築されたものと見なす立場。
- b) 近代化の進行に伴い、それまでの社会において当然のものと見なされ安定して存在していた多くの制度や価値観などがその根拠を失って不安定なものとなり、常に変動し続けるようになること。
- c) アンソニー・ギデنزが、後期近代における社会変動の一つとして論じた概念。ギデنزは、後期近代における親密な関係性は、地縁・血縁や社会制度などの外的な要因ではなく、互いに対する精神的な満足感のような内的な要因によって再帰的に基礎づけられるようになると主張した。

- 問 2
- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
 - ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
 - ・ 長所と短所の双方について論述しているか（長所、あるいは短所のいずれかについてしか論じていない場合は減点）。
 - ・ 質問紙調査やインタビューとの比較が、社会学的な視点から適切になされ、それらとの相違点が的確に指摘されているか。

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（異文化理解・多文化共生研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

問 1 および問 2 の全てについて解答してください。

※ 問 1 は「解答用紙その 1」に、問 2 は「解答用紙その 2」に記入してください。

問 1 以下に示す用語について、それぞれ具体例を挙げて説明してください。

- (1) 多元的無知
- (2) システム正当化理論
- (3) 接触仮説
- (4) 育成就労制度

問 2 あなた自身が経験した異文化間の誤解または摩擦（架空の事例でも構いません）を記述してください。その事例について、DIE 法を用いて分析してください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】（専門科目）解答例

専 攻：（社会科学）

専門領域：（異文化理解・多文化共生研究）

試験区分：（一般）

問 1（解答例の概要を示す）

- （１） 集団の多くの成員が、自分自身は集団規範を受け入れていないにもかかわらず、他の成員のほとんどがその規範を受け入れていると信じている状況。
- （２） 現行のシステムが現に存在するというだけの理由から、そのシステムを公正で正当なものであると認識し、維持してしまう心理的傾向。
- （３） 直接接触によって偏見が低減されるという仮説。条件として①地位の対等性、②目標の共有と協力、③社会的・制度的支持、④親密な接触が挙げられる。
- （４） 技能実習制度に代わり、日本の人手不足分野における人材育成と人材確保を目的として創設される制度。要件が満たされれば転職・転籍が可能、日本語要件がある等の点が技能実習制度とは異なる。

問 2

- ・ 自身（または架空）の異文化摩擦の事例が示されているかどうか。
- ・ それを Description（事実の描写）、Interpretation（解釈）、Evaluation（評価）から分析しているかどうか。
- ・ 分析結果の考察を行っているかどうか。
- ・ 出題意図に沿った解答が、論理的に示されているかどうか。
- ・ （全体を通して）解答に必要な専門用語が適切に用いられているかどうか。

令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（異文化理解・多文化共生研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

問 1 および問 2 の全てについて解答してください。

※ 問 1 は「解答用紙その 1」に、問 2 は「解答用紙その 2」に記入してください。

問 1 以下に示す用語について、それぞれ具体例を挙げて説明してください。

- (1) 多元的無知
- (2) システム正当化理論
- (3) 接触仮説
- (4) 育成就労制度

問 2 多文化共生に関する研究に取り組んでいく者として、これからあなたが身に付けていかなければならない能力および姿勢について、具体的に説明してください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】（専門科目） 解答例

専 攻：（社会科学）

専門領域：（異文化理解・多文化共生研究）

試験区分：（リカレント）

問 1（解答例の概要を示す）

- （１） 集団の多くの成員が、自分自身は集団規範を受け入れていないにもかかわらず、他の成員のほとんどがその規範を受け入れていると信じている状況。
- （２） 現行のシステムが現に存在するというだけの理由から、そのシステムを公正で正当なものであると認識し、維持してしまう心理的傾向。
- （３） 直接接触によって偏見が低減されるという仮説。条件として①地位の対等性、②目標の共有と協力、③社会的・制度的支持、④親密な接触が挙げられる。
- （４） 技能実習制度に代わり、日本の人手不足分野における人材育成と人材確保を目的として創設される制度。要件が満たされれば転職・転籍が可能、日本語要件がある等の点が技能実習制度とは異なる。

- 問 2
- ・ 社会調査の方法に関する基礎知識があるかどうか。
 - ・ 研究における倫理的配慮を理解しているかどうか。
 - ・ 出題意図に沿った解答が、論理的に示されているかどうか。
 - ・ （全体を通して） 解答に必要な専門用語が適切に用いられているかどうか。

令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（社会行動論）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

問題 1 以下に挙げる用語の意味を説明しなさい。5 つすべてに回答すること。

- 1) ステレオタイプ (stereotype)
- 2) リーダーシップ (leadership)
- 3) 社会的自己 (social self)
- 4) 社会的手抜き (social loafing)
- 5) インタビュー (interview)

問題 2 以下に挙げる 2 つの問いに両方とも回答しなさい。

- 1) フィールドワークを行う際に研究者が不可避免的に相手（調査協力者）に与えてしまう影響をどのように考えたらよいか考察し論じなさい。
- 2) 社会科学における研究倫理について解説しなさい。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：（ 社会科学 ）

専門領域：（ 社会行動論 ）

試験区分：（一般・留学生）

問題 1 以下に挙げる用語の意味を説明しなさい。5 つすべてに回答すること。

※簡潔に各専門用語の解説がなされているか。

※留学生の場合は、適切な日本語文になっているか。以下は解答例

1) ステレオタイプ (stereotype)

ステレオタイプとは、特定の集団やカテゴリーに対する固定的かつ単純化された認知や思い込みのことである。社会的認知の効率化を図る一方、偏見や差別につながる危険性があり、個人の多様性や実際の姿を無視した画一的判断を生じさせる。

2) リーダーシップ (leadership)

リーダーシップとは、特定の目標達成に向けて集団を動機付け、メンバーを統率する能力や影響力を指す。リーダーは明確なビジョンを示し、メンバー間の信頼関係を築き、効果的な意思決定を促すことで、集団の成果や凝集性を高める。

3) 社会的自己 (social self)

社会的自己とは、他者との相互作用や社会的環境の影響を受けて形成される自己概念のことである。自己の理解や評価は他者との比較や関係性に依存し、状況や役割ごとに異なる多面的な自己像を持つという特徴がある。

4) 社会的手抜き (social loafing)

社会的手抜きとは、集団で共同作業をする際、個人の責任が曖昧になるため努力や貢献度が低下する現象を指す。人数が増えるほど顕著になりやすく、個人の成果が明確に評価されない場合に動機付けの低下が生じることが原因である。

5) インタビュー (interview)

インタビューとは、対象者との質疑応答を通じて直接的かつ詳細な情報を収集する方法である。質的研究、報道、就職活動など幅広く用いられ、とくに質的研究では対象者の意見や経験、価値観など主観的側面を深く理解する手法として重要である。

問題2 以下に挙げる2つの問いに両方とも回答しなさい。

※出題意図に沿った解答がなされているか。

※解答に必要な専門用語が適切に用いられ論理的な記述がなされているか。

※留学生の場合は、適切な日本語文になっているか。以下は解答例

1) フィールドワークを行う際に研究者が不可避免的に相手（調査協力者）に与えてしまう影響をどのように考えたらよいか考察し論じなさい。

フィールドワークでは、研究者の存在や行動自体が調査協力者に影響を与えることは避けられない。研究者が調査の場に入ると、協力者は意識的・無意識的に普段とは異なる行動や発言をする場合があり、これがデータの質や研究の妥当性に影響を及ぼす。この問題を考える際には、まず研究者自身が、自分の存在や言動がどのような影響を及ぼしているのかを常に意識し、その影響を丁寧に記録し、内省的に分析する必要がある。さらに、協力者との相互信頼を高めることにより、影響を完全に排除することはできなくとも、より自然な状況に近づける工夫も求められる。最終的には、研究者自身の影響を単なるバイアスとして排除するのではなく、研究の一部として積極的に記述・分析し、研究成果の信頼性や深さを高めることが重要となる。

2) 社会科学における研究倫理について解説しなさい。

社会科学における研究倫理とは、調査や研究を行う際に守るべき倫理的な規範やルールを指す。社会科学の研究対象は人間や社会であるため、研究対象者の権利や福祉の尊重が第一に求められる。具体的には、対象者へのインフォームド・コンセント（十分な説明と同意）の徹底、プライバシー保護、匿名性の確保、得られた情報の目的外使用や漏洩の防止などが重要である。また、研究者は調査過程で対象者に与える心理的負担や影響にも配慮し、不利益や被害を与えないことに努めなければならない。加えて、データの捏造や改ざん、盗用など研究の誠実性を損なう不正行為の防止も不可欠である。社会科学では対象者との関係性が直接的・継続的であることが多いため、倫理的配慮は研究の質や信頼性を支える基礎となる。

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（スポーツ社会研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

問 1 以下に示す用語について、具体例を挙げながら、社会に与えるメリットとデメリットを説明してください。

- (1) 部活動地域移行
- (2) トランスジェンダー競技者
- (3) e スポーツ

問 2 日本の大規模スポーツ施設の運用について、欧米との違いを明らかにした上で、その問題点や課題を示し、具体的解決策について説明してください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(スポーツ社会研究)

試験区分：(一般)

- 問 1
- (1) 移行前の現状を踏まえた上で移行後に想定されているメリット・デメリットの両面を具体的に示し、ステイクホルダーへの影響を的確に説明しているか
 - (2) アスリートの性差が競技にどのような影響を与えているのかを踏まえた上で、想定されるメリット・デメリットの両面を具体的に示し、個人の尊厳と公平性との両面から社会に与える影響を的確に説明しているか
 - (3) これまでのスポーツとの共通点と相違点を踏まえた上で、想定されるメリット・デメリットの両面を具体的に示し、ネット社会における人々への影響を的確に説明しているか
- 問 2
- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
 - ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
 - ・ 日本と欧米のスポーツ文化の違いを踏まえた上で論じられているか。
 - ・ 2020 年前後に国内で建設されている大規模施設について、レガシーとの関係で論じられているか。

令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（国際政治学研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

以下のすべての設問に回答しなさい。解答用紙は自由に使ってよいが、設問 1～6 は番号順に答案を記入しなさい。記述の分量は 6 問全体で解答用紙 2 枚を超えないようにしなさい。

- 1) 政治権力はどのようにして正当化されるでしょうか。二つ以上のパターンを記述してください。
- 2) 国際政治における「パワー（政治権力）と国益と価値（道義）」の三つについて、それぞれの関係を説明しなさい。（例：パワーと国益の関係は～、国益と価値（道義）の関係は～、など）
- 3) アメリカ合衆国での「ソフト・パワー」の最初の提唱者は誰だったでしょうか。
- 4) ソフト・パワーとハード・パワーについて、それぞれの定義と実例を述べなさい。
- 5) スマート・パワーという用語の意味について、定義などを通じて説明しなさい。
- 6) スマート・パワーが機能している各国の政策の例について、一つ選んで述べなさい。その上で、その政策におけるスマート・パワーの意義やメリットは何か、説明しなさい。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(国際政治学研究)

試験区分：(留学生)

設問 1) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。

- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 政治権力の正当化について、合理的・非合理的または理性的・非理性的といった対称的な観点で整理された答案になっているか。
- ・ 答案が、政治学の基本的な学説や文献や著者への言及を含んでいるか。

設問 2) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。

- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ パワー（政治権力）と国益と価値のうちふたつ一組で取り上げて両者の優劣やディレンマなどの関係性を国際政治学の基礎的な観点から説明できているか。

設問 3) ジョセフ・ナイ・ジュニア（英語表記も可とする）

設問 4) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。

- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 両者のパワーの特徴を述べているか。適切な事例を用いているか。

設問 5) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。

- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ スマート・パワーの特徴を述べているか。適切な事例や文献などを用いて説明されているか。

設問 6) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。

- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 適切な事例を選択して政策上の意義やメリットを論じているか。

令和7年度茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（家族社会学研究）

解答は解答用紙に記載して下さい。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入して下さい。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

以下の設問の全てに対して論じて下さい。

※問1は「解答用紙その1」に、問2は「解答用紙その2」に記入して下さい。

【問1】下記の用語についてそれぞれ説明して下さい。3つ全てに解答すること。

- A. 近代家族(modern family)
- B. ライフコース(life course)
- C. アファーマティブ・アクション(affirmative action)

【問2】

1. 欧米の経験した近代化と東アジアの経験した近代化の間には、どのような違いが見られますか。「圧縮的近代(compressed modernity)」という用語を用いて、東アジア社会の経験した近代化の特徴と、今日それがもたらしている家族にかかる諸問題について論じてください。
2. 現在徴兵制を導入している国では、「真のジェンダー平等を実現するためには、女性も男性と同じように徴兵の義務を果たすべきである」という意見があります。この問題について、あなたの考えを述べてください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(家族社会学研究)

試験区分：(一般・留学生)

問 1

A. 近代家族 (modern family)

- ・ 19 世紀以降の西欧社会を中心に成立した核家族中心の家族形態を指す。
- ・ 特徴として、夫婦愛情を基礎とした結婚、家族機能の限定化（教育・情緒的サポート等）、性別役割分業などが挙げられる。
- ・ 採点ポイント：生産領域と再生産領域の分離について、産業革命と関連づけて説明できているか。

B. ライフコース (life course)

- ・ 個人の人生を出生から老年期までの連続したプロセスとして捉える概念。
- ・ 教育、就労、結婚、出産、引退などの出来事や移行が、社会構造や歴史的文脈の影響を受けながら形成されるという観点が重要である。
- ・ 採点ポイント：Glen Elder のライフコース理論、世代間比較の視点や歴史的時間の影響（コーホート分析）について論じられているか。ライフサイクルとの差異についても論じられると良い。

C. アファーマティブ・アクション (affirmative action)

- ・ 歴史的に差別・排除されてきた集団（例：女性・マイノリティ）に対して、平等な機会を実現するために積極的な措置を取る政策や制度。
- ・ 例として、大学入試や企業採用での優先措置、ジェンダークォータ制度などがある。
- ・ 採点ポイント：「機会の平等」を提供するだけでは、マイノリティ集団が被っている不平等の是正が難しいという前提を理解できているかどうか。

問 2

1. 欧米の経験した近代化と東アジアの経験した近代化の間には、どのような違いが見られますか。「圧縮的近代(compressed modernity)」という用語を用いて、東アジア社会の経験した近代化の特徴と、今日それがもたらしている家族にかかる諸問題について論じてください。

- ・採点ポイント：以下の観点が含まれているか。
- ・出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・「圧縮的近代」の概念を的確に定義できているか。
- ・欧米との比較を明示しつつ、東アジア特有の特徴（短期間での産業化・都市化、伝統と近代の共存など）を説明できているか。
- ・それが家族にもたらしている問題（晩婚化、少子化、親密性の変容、家族内ケアの過重負担など）に言及しているか。

2. 現在徴兵制を導入している国では、「真のジェンダー平等を実現するためには、女性も男性と同じように徴兵の義務を果たすべきである」という意見があります。この問題について、あなたの考えを述べてください。

- ・採点ポイント：以下の観点が含まれているか。
- ・ジェンダー平等の概念と徴兵制度の関係について理解しているか。
- ・単なる賛否ではなく、理由や根拠を示して論理的に展開されているか。
- ・社会的文脈（国家の安全保障とジェンダー役割の関係など）を踏まえた議論ができているか。
- ・自らの立場を明確に述べ、対立意見への配慮やバランス感覚があるか。

令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（商法・経済法研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）著作権法における、「著作物性」について説明して下さい。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(商法・経済法研究)

試験区分：(留学生)

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 著作物性の有無についての基本的な考え方が説明されているか。
- ・ 著作物に該当しないものを示しているか。

令和 7 年度茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（ 労働法研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

以下のテーマについてそれぞれ論じてください。

- 1.労働法上の労働者性について
- 2.日本における高齢者雇用の概要と問題点について

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(労働法研究)

試験区分：(留学生)

問 1

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 重要な判例、学説について記述されているか。
- ・ 自身の考えが明確に述べられているか。

問 2

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 関連する法律の内容が適切に記述されているか。
- ・ 自身の考えが明確に述べられているか。

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（ 社会保障法研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問） 以下の設問のすべてに解答してください。

「子ども」の福祉について、①～③の指示に従って記述してください。

- ① 「子ども」の特性や「子ども」の日常生活の特徴を具体的に提示してください。
- ② 「子ども」の福祉に関する法律もしくは施策について、その名称を示すと共に、概要を説明してください。
- ③ ①および②をふまえて、「子ども」の福祉に関する今日的な問題を取り上げて、具体的に説明してください。

令和7年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】（ 専門科目 ） 解答例

専 攻：（ 社会科学 ）

専門領域：（ 社会保障法研究 ）

試験区分：（ リカレント ）

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ ①～③の指示に従って具体的な記述がなされているか。
- ・ 記述が解答する上で求められる適切な分量に達しているか。

令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（ 社会保障法研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問） 以下の設問のすべてに解答してください。

1. 現在の日本には、様々な児童福祉に関連する法律があるが、その中から 2 つ選んで、それぞれの法律の概要を説明してください。
2. 社会保障の目的について、説明してください。

令和7年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】（専門科目）解答例

専攻：（社会科学）

専門領域：（社会保障法研究）

試験区分：（留学生）

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 記述が解答する上で適切な日本語で表現されており、かつ、具体的な内容を含んでいるか。
- ・ 記述が解答する上で求められる適切な分量に達しているか。

令和 7 年度 茨城大学 大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（ 労働経済論研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

1. 括弧内が空欄の場合には適切な用語または数値を、括弧内に選択肢がある場合には選択肢番号を記入してください。

(1) 日本では、月 60 時間を超える法定時間外労働に対しては、() %以上の率で計算した割増賃金を支払われなければならない。

(2) 人事考課は、評価要素別に、() 考課、能力考課、業績考課の 3 つがある。

(3) 非正規雇用労働者の割合は、男性は 10 代後半から 30 歳代後半にかけて次第に減少し、35-59 歳層では、(①10 ②20 ③30) %前後の水準になるが、60 歳代でまた割合が大きくなる。これに対して、女性は 20 歳代前半から非正規雇用労働者の割合が増加し、40 歳代以降の世代では、非正規雇用労働者の割合の方が正規雇用労働者の割合より大きい。

(4) 低い世帯所得の割合が大きいのは、日本では、共働き世帯と専業主婦世帯のうち、() 世帯の方である。

2. いま日本の国および産業界が推進している働き方改革について、勤労者の労働・生活実態をふまえて論じてください。その際、①働き方改革の背景と趣旨、②新しい政策や職場の人事労務管理制度の内容、③今後の課題などについて触れてください。

令和7年度人文社会科学研究科

(社会科学 専攻)

秋入試 問題・解答用紙等訂正用紙

試験科目名: 労働経済論研究

問題・解答用紙等の訂正

設問

~~設問 1. (1) ~ 割増賃金を支払うか~~

設問 1 (1)

誤: 2行目. 「~支払わなければ…」

正: 2行目 「~支払わなければ…」

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：（ 社会科学 ）

専門領域：（ 労働経済論研究 ）

試験区分：（留学生）

問 1 （1） 5 0 （2） 情意 （3） ① （4） 専業主婦

- 問 2
- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
 - ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられ説明されているか。
 - ・ 解答することが求められている政策や制度について具体的に論述しているか。
 - ・ 適切な日本語で一定の分量の解答がなされているか。

令和 7 年度 茨城大学大学院 人文社会科学 研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（マーケティング論研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問） つぎの文章を読み、以下の設問に答えてください。



問 1 文中の（ a ）～（ c ）にあてはまる用語の組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えてください。

ア） a: 交換, b: 取引, c: 再購買

イ） a: 交換, b: インタラクション, c: プロセス

ウ） a: 交換, b: 顧客維持, c: 顧客満足

問 2 以下は、文中の（ d ）を説明する内容である。（ d ）にあてはまる用語を答えてください。

説明文） サービスを提供する際に、顧客と企業またはサービスが接すること。サービスの提供者と顧客とのインタラクションに注目するうえで、見逃せない観点だといえる。

問 3 文中の下線部（ e ）「1990 年代に注目された顧客維持戦略の中で、顧客満足は顧客維持や再購買に効果をもたらすことから、サービスによる貢献を購買の範疇で示そうとする動きがあった」について、なぜ顧客維持が重要だったのだろう。当時の社会背景を考えながら、その要因について端的に説明してください。

問4 文中の下線部 (f)「サービスの生産と消費は同時であり、重要なのは連続して実践されるサービスによる企業活動ということになる」が北欧学派の大きな特徴だといえるが、それは北米型とのどのような違いを明確にするといえるだろう。このことを端的に説明してください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(マーケティング論研究)

試験区分：(留学生)

問 1 イ

問 2 サービス・エンカウンター

問 3 ・社会科学において必要な思考に基づく視点を踏まえているか。

・出題意図に沿った解答がなされているか。

・説明に必要な論点を明確にして記述しているか。

問 4 ・解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。

・出題意図に沿った解答がなされているか。

・説明に必要な論点を明確にして記述しているか。

令和7年度茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（マーケティング・サイエンス研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

問1 製品・サービスのデジタル化・オンライン化を背景とした、近年の消費者行動の変化に関連する以下の用語の中から3つ選び、それぞれどのようなものか300字程度で説明してください。解答用紙には、何番の答えであるかを明記してください。

- (1) オムニチャネル
- (2) ライブコマース
- (3) BOPIS
- (4) リキッド消費
- (5) カスタマー・ジャーニー

問2 市場反応分析に関する次の文章を読み、以下の設問に答えてください。

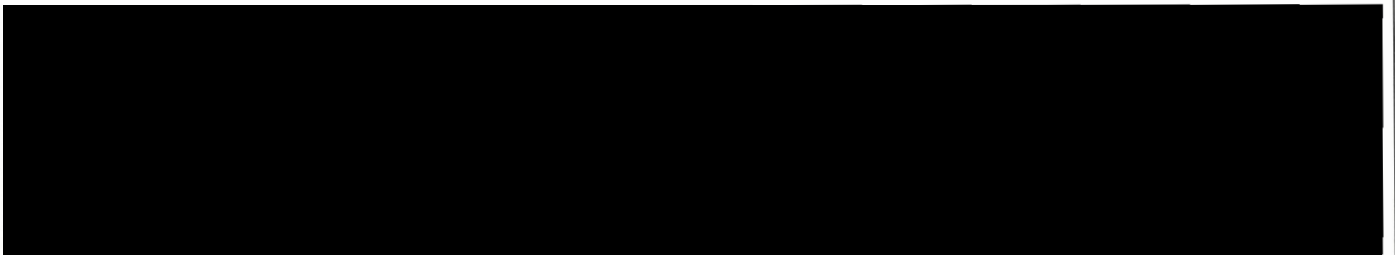


表1 週ごとの売上数量・価格・広告活動の有無

The content of Table 1 is completely redacted with a black box.

表2 重回帰分析の結果

The content of Table 2 is completely redacted with a black box.

- (1) 文中の(A)および(B)に入る言葉を答えてください。
- (2) 「広告活動の有無」のように、「ある」「ない」といった、もとは質的なデータを数値に置き換えて作られた変数のことを何と呼ぶか答えてください。
- (3)重回帰分析の結果（表 2）からどのようなことが言えるかを説明してください。
- (4)回帰分析は複数の変数間に因果関係を想定している。同様に複数の変数間の関係を表すものとして相関関係があるが、因果関係と相関関係はどのように異なるのか、マーケティングに関する具体例をもとに説明してください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(マーケティング・サイエンス研究)

試験区分：(一般・留学生)

- 問 1
- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
 - ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
 - ・ 文章量が適切か

- 問 2
- (1) A 説明変数
B 目的変数

(2) ダミー変数

(3)

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 問題文中の分析結果を適切に読み取れているか。

(4)

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
- ・ 取り上げた具体例が適切か

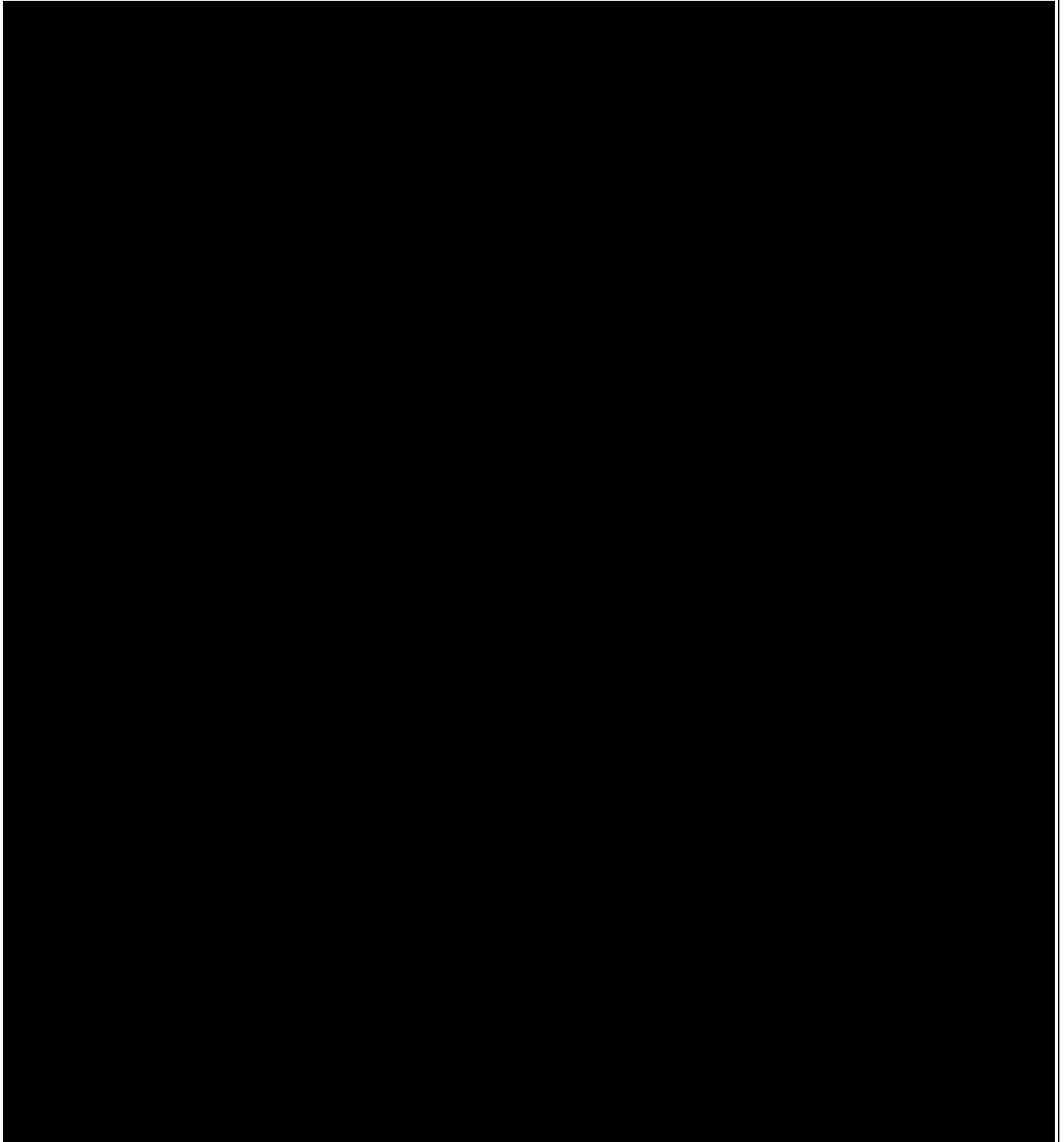
令和 7 年度 茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（ 経営戦略論研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問） 次の文章を読んで、以下の(1)～(5)の設問にそれぞれ解答してください。



- (1) 下線(a)について、ポジショニング・ビューが立脚する理論名を記載してください。
- (2) 下線(b)の（ ）内に当てはまる言葉を記述してください。
- (3) 下線(c)について、リソース・ベースト・ビューの議論はなぜ組織能力へと発展したのか説明してください。
- (4) 下線(d)について、Teece によるダイナミック・ケイパビリティの定義を示してください。
- (5) 下線(e)について、企業や組織が合理的に変革を避け現状維持を選択するビヘイビアを、Williamson による取引コスト理論の観点から論じてください。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【秋入試】 （専門科目） 解答例

専 攻：(社会科学)

専門領域：(経営戦略論研究)

試験区分：(一般・留学生)

- (1) S(Structure：構造)-C(Conduct：行為)-P(Performance：成果)理論
- (2) 経営資源を独占
- (3) ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
・ 経営資源と経営者能力の関係性について明確に述べられているか。
- (4) ・ 出題意図に沿って解答がなされているか。
・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
・ ケイパビリティについて具体的内容が示されているか。
- (5) ・ 出題意図に沿って解答がなされているか。
・ 解答に必要な専門用語が適切に用いられているか。
・ 組織の硬直化と取引コストの関係性について明確に述べられているか。